



2021年6月21日

各位

会社名 帝人株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 鈴木 純
(コード番号 3401 東証第一部)
問合せ先 IR部長 鳥居 知子
(TEL 03-3506-4395)

公募ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の発行に関するお知らせ

当社は、本日、発行予定額を600億円とする公募形式によるハイブリッド社債（劣後特約付社債）（以下、本社債）の発行に関する訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、お知らせいたします。

1. 本社債発行の目的と背景

当社は、2021年2月26日付「2型糖尿病治療剤「ネシーナ[®]錠」、「リオベル[®]配合錠」、「イニシンク[®]配合錠」、「ザファテック[®]錠」の日本における販売移管、知的財産権実施許諾及び製造販売承認の承継に係る資産譲渡契約の締結に関するお知らせ」及び2021年4月1日付「2型糖尿病治療剤の日本における販売移管完了に関するお知らせ」にて公表したとおり、武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長CEO:クリストフ・ウェバー)が日本において製造販売する2型糖尿病治療剤について、当社の子会社である帝人ファーマ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:渡辺 一郎、以下、「帝人ファーマ」)が日本における販売移管（以下、「本販売移管」）を受け、2021年4月1日より帝人ファーマにて販売を開始しております。

本販売移管に係る資金については、一定の財務規律を維持する前提の下、最適な資金調達手段を検討してまいりましたが、一時的に悪化する財務体質の改善と将来の収益源育成に向けた資源投入の実行を支える財務健全性を確保するため、今般、本販売移管のために調達した借入金の返済資金の一部に充当することを目的として本社債の発行を決定いたしました。

2. 本社債の特徴

本社債は、資本と負債の中間的性質を持つハイブリッドファイナンスの一形態であり、負債であることから一株当たりの株式価値の希薄化は発生しない一方、利息の任意繰延、超長期の償還期限、清算手続及び倒産手続における劣後性等、資本に類似した性質及び特徴を有しております。このため、当社では株式会社格付投資情報センター（R&I）より資金調達額の50%に対して資本性の認定を受けられることを見込んでおります。

本社債の概略につきましては、本日付で関東財務局長に提出した訂正発行登録書をご参照ください。

3. 今後のスケジュール

本社債の発行においては、野村証券株式会社を事務主幹事会社として、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、大和証券株式会社及びSMBC日興証券株式会社を共同主幹事会社として起用し、需要状況や金利動向等を総合的に勘案した上で利率等の条件を決定する予定であり、決定次第すみやかにお知らせいたします。

以上

ご注意：このお知らせは、公募ハイブリッド社債（劣後特約付社債）の発行に関して一般に公表することを目的としており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的としておりません。